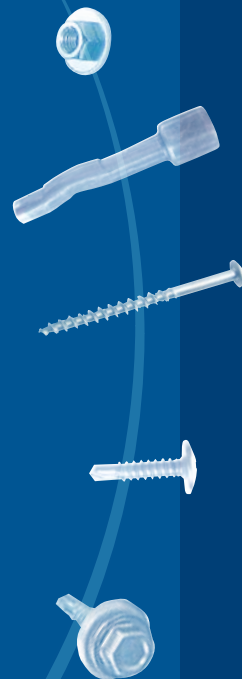


Japan Power Fastening

第48期中間事業のご報告

平成22年1月1日～平成22年6月30日



日本パワーファスニング株式会社

証券コード: 5950



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

第48期第2四半期累計期間(平成22年1月1日～平成22年6月30日)の事業のご報告を行うにあたりまして、株主の皆さまのいっ
つに変わらぬご理解と温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期累計期間を振り返りますと、アジアを中心とした新興国の需要拡大による輸出の回復やエコ家電・エコカー等の政策効果により景気持ち直しの動きが一部で見られたものの、全体の景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループに関連が深い建築市場や自動車・家電市場におきましては、特に自動車の生産台数が大幅に伸び、当社グループ製品の需要も回復基調で推移いたしました。また、新たな事業として新規参入いたしました太陽電池パネル組立事業について初期投資の負担もありますが、順調にスタートを切ることが出来ました。これからの収益の柱として確実に成長させるべく積極的に取り組んでまいります。

今後も関連市場の停滞や素材価格の急変など厳しい事業環境が続くと予想されますが、当社グループで保有する中国生産拠点や環境配慮型の表面処理設備等の強みをさらに活かし、積極果敢な事業活動を行っていく所存であります。

当社グループは、ものづくりの原点に帰り、良質な製品を適正なコストで生産することはもとより、企業の信頼性を一層向上させ、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、業績の低迷等により大変ご心配をおかけしておりますが、収益向上をはかるとともにIR・広報活動を通じて皆さまへの積極的な情報開示と円滑なコミュニケーションをはかり、経営の透明性をより高めるよう努める所存でありますので今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役社長

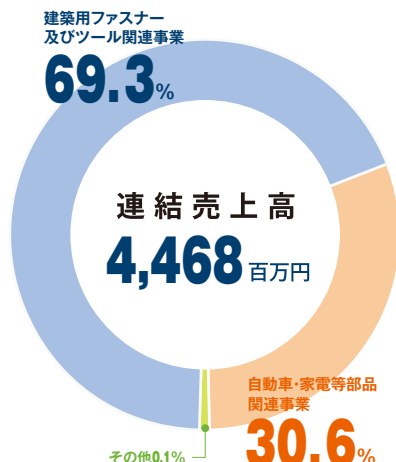
工 肥 雄 治

建築用ファスナー及びツール関連事業

当事業の主力市場である新設住宅の着工につきましては、住宅版エコポイント等の住宅政策の効果が一部で見られたものの個人の住宅購入意欲の停滞等により、前年同期に比べ約4%減という低い水準で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは主力製品であるドリルねじ及び石膏ボード用特殊ねじの全社的な拡販活動を行い新たな受注を獲得し、また、新たな事業として当期から立ち上げました太陽光発電

パネル組立事業も順調に推移いたしました。以上のような活動の結果、外部売上高は3,098百万円(前年同期比3.1%増)と若干の増収となりましたが、営業損益は20百万円の損失(前年同期は249百万円の営業損失)にとどまりました。



ガス式びょう打機
多量施工用に開発したコイルマガジンタイプ(左)
先端がスリムになり施工範囲を広げたプロタイプ(右)



あと施工アンカー



太陽光発電パネル



住宅用締結金具

主な製品

- ドリルねじ(テクス、MBテクス、ハイパーテクス)
- ドライウォール用特殊ねじ(コンストB、ハイロー等)
- 木造用耐震ねじ(モックス)
- あと施工アンカー(ダイナボルト、コブラ、タップスター)
- 座金組込ナット(ケブス)
- ねじ連続打込機(バックオート)
- せっこうボード用特殊ねじ(コンストB等)
- ALC用特殊ねじ(アリンコ)
- コンクリート用特殊ねじ(タップコン)
- 特殊ピン、特殊ネイル
- 住宅用締結金具
- ガス式釘・びょう打機(トラックファースト、スティード)
- 太陽光発電パネル

自動車・家電等部品関連事業

自動車業界並びに家電業界におきましては、特に自動車生産が好調に推移し、その国内生産台数は前年同期比45%の増加となり、当事業関連の製品需要も増加いたしました。

このような需要増に対して、供給体制を整えるとともに品質向上や原価低減等の活動を行いました。その結果、外部売上高は1,364百万円(前年同期比58.6%増)となり、営業利益は87百万円(前年同期は70百万円の営業損失)となりました。



ナット、ねじ、座金類



金型・治工具

主な製品

- 座金組込ナット(ケブス)
- 座金組込ねじ(セムス)
- 波形はね座金(スパック)
- 歯付き座金
- 一般産業用締結ファスナー(薄板・小物ばね)
- 金型・治工具

第 2 四 半 期 財 務 諸 表 の 概 要 （ 連 結 ）

百万円未満は、切り捨てて表示しております。

■ 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 〔平成22年 6月30日現在〕	前第2四半期末 〔平成21年 6月30日現在〕	科 目	当第2四半期末 〔平成22年 6月30日現在〕	前第2四半期末 〔平成21年 6月30日現在〕
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	7,280	6,989	流 動 負 債	5,381	5,955
現 金 及 び 預 金	1,411	1,882	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,806	1,306
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	2,084	2,124	短 期 借 入 金	2,192	2,777
電 子 記 録 債 権	787	-	一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	899	1,366
た な 卸 資 産	2,358	2,486	そ の 他	482	504
繰 延 税 金 資 産	26	22	固 定 負 債	2,966	2,458
そ の 他	624	483	長 期 借 入 金	2,529	1,886
貸 倒 引 当 金	△ 12	△ 10	退 職 給 付 引 当 金	150	236
固 定 資 産	5,608	5,966	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	35	38
有 形 固 定 資 産	4,676	4,937	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	191	191
建 物 及 び 構 築 物	1,572	1,632	そ の 他	59	106
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,077	1,232	負 債 合 計	8,347	8,414
土 地	1,778	1,780	純 資 産 の 部		
そ の 他	247	292	株 主 資 本	3,883	4,138
無 形 固 定 資 産	112	124	資 本 金	2,550	2,550
投 資 そ の 他 の 資 産	819	904	資 本 剰 余 金	1,638	1,888
投 資 有 価 証 券	538	609	利 益 剰 余 金	△ 153	△ 151
繰 延 税 金 資 産	81	81	自 己 株 式	△ 151	△ 149
そ の 他	225	243	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 178	18
貸 倒 引 当 金	△ 25	△ 30	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 224	△ 108
資 産 合 計	12,888	12,955	土 地 再 評 価 差 額 金	60	60
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 15	65
			少 数 株 主 持 分	836	383
			純 資 産 合 計	4,540	4,540
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,888	12,955

■ 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 〔平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで〕	前第2四半期累計 〔平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで〕
売 上 高	4,468	3,868
売 上 原 価	3,423	3,145
売 上 総 利 益	1,044	723
販売費及び一般管理費	1,007	1,076
営 業 利 益 (△損失)	37	△ 353
営 業 外 収 益	16	59
営 業 外 費 用	73	74
経 常 利 益 (△損失)	△ 19	△ 368
特 別 利 益	17	62
特 別 損 失	83	94
税金等調整前四半期純利益 (△損失)	△ 85	△ 400
法 人 税 等 (法人税等調整額を含む)	26	145
少数株主利益(控除)	6	△ 33
四半期純利益 (△損失)	△ 118	△ 512

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 〔平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで〕	前第2四半期累計 〔平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで〕
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 202	35
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 259	166
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	428	833
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 16	7
現金及び現金同等物の 増 減 額	△ 49	1,043
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	1,460	839
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	1,411	1,882

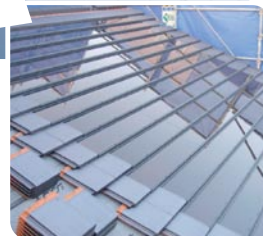
『住宅用太陽電池モジュール(ソーラーパネル)』を出荷開始いたしました。

当社は、平成22年1月より株式会社カネカの指導のもと、太陽電池モジュールの生産を開始し、同年2月より出荷を開始いたしました。

昨今、太陽光発電が注目され、国や自治体の補助制度もあり、新設住宅にて太陽光発電システムの設置数が順調に伸びております。当社におきましても太陽電池モジュールの組立ラインの改善を行い、より効率的な生産体制を整えております。今後は、当社の得意とする建築用ファスナーや取付金具の太陽光関連事業分野への拡大をはかるとともに組立ラインのさらなる増産体制を築いてまいります。



▲ソーラーパネル施工現場



『2010年上海万博 日本産業館の「夢ROBO」』に協賛いたしました。

当社は、「2010年上海万博」日本産業館パビリオン西側壁面の梯子を上り下りする「夢ROBO」の設置に協賛いたしました。

日中友好等の社会貢献、海外における知名度の拡大、従業員の士気向上をはかり、事業活動の発展に資することを目的としております。

上海万博をきっかけに中国との友好関係もより一層深め、中国子会社との協力体制のもと、さらなる業績向上をはかり、お客様のニーズに対応した高品質製品を提供できるよう努力してまいります。



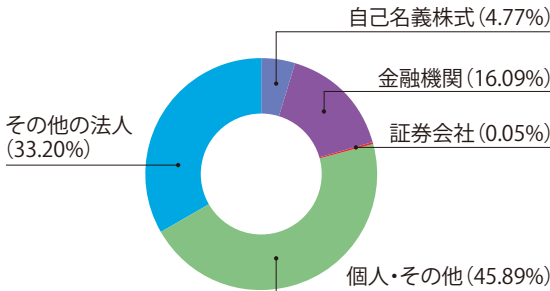
©Forward Stroke Inc.
Photo Forward Stroke Inc.

株式の状況

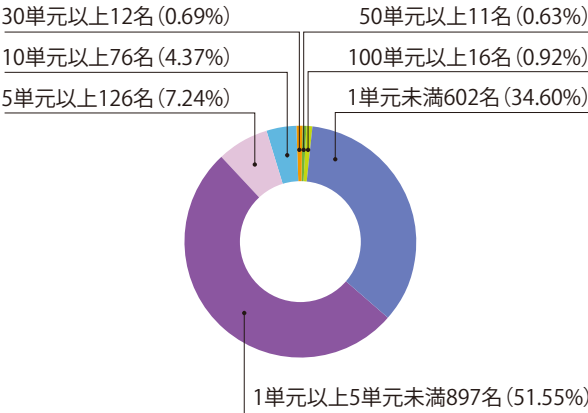
発行可能株式総数 39,800,000 株
発行済株式の総数 18,688,540 株
単元株式数 1,000 株
株主数 1,740 名

所有者別株式分布状況

単元単位で計算しております。



所有株式数別株主分布状況

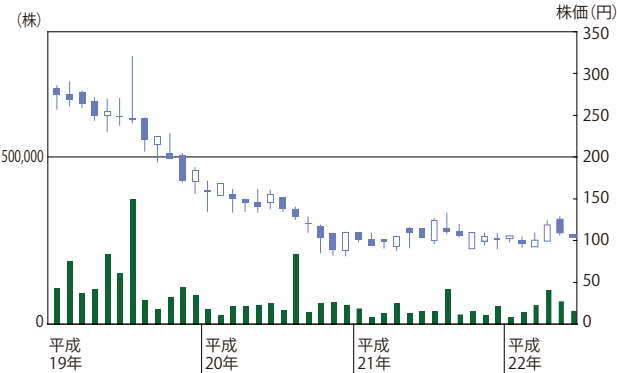


大株主

(注) 自己株式を884千株保有しております。

株主名	当社への出資状況	
	持株数(単位:千株)	出資比率
積水ハウス株式会社	3,877	20.75%
土肥雄治	1,713	9.17%
土肥智雄	1,505	8.05%
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	1,000	5.35%
ジェイ・ピー・エフ共栄会	890	4.76%
株式会社みずほ銀行	866	4.64%
株式会社池田泉州銀行	762	4.08%
株式会社滋賀銀行	753	4.03%
木田芳佑	474	2.54%

株価の推移



役員

代表取締役社長 土肥雄治
代表取締役専務 土肥智雄
取締役常務執行役員 成田順一 大塚孝幸
取締役執行役員 小山昇
常勤監査役 狩野利昭
社外監査役 本郷修 美濃浦利夫

執行役員 (取締役執行役員を除く)

川端満 山極幸雄 小西良幸

日本パワーファスニング株式会社

資本金：2,550百万円

事業内容：建築用ファスナー及びツールの製造・販売

本社住所：〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番90号

近江ニスコ工業株式会社

資本金：200百万円

事業内容：自動車・家電等部品の製造・販売

本社住所：〒520-2412 滋賀県野洲市六条1018番地1

中国現地法人 蘇州強力五金有限公司

資本金：11,400千USDドル

事業内容：金属製品の製造・販売

本社住所：中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人 蘇州強力電鍍有限公司

資本金：700千USDドル

事業内容：表面処理及び鍍金加工

本社住所：中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人 蘇州強力住宅組件有限公司

資本金：1,000百万円

事業内容：住宅用資材及び部品の製造・販売

本社住所：中華人民共和国 江蘇省太倉市

■事業年度末	毎年12月31日
■定時株主総会	毎年3月
■期末配当受領株主確定日	毎年12月31日
■中間配当受領株主確定日	毎年6月30日
■株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	☎ 0120-288-324 (通話料無料) 専用ホームページ“お手続き内容”で 一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/ 日本経済新聞

■公告掲載方法

<http://www.jpff-net.co.jp>